

令和5年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

明德中学校区 校番 20 明德中学校

| | | | |
|----------|--|----------------------|--|
| a 学校教育目標 | <校訓> 明るく 仲良く たくましく <学校教育目標> 確かな学力と豊かな心をもち、主体的に生きる生徒を育成する。 | b 経営理念 ミッション・ビジョン | <ミッション> 夢と志をもち、可能性に挑戦するために必要となる力をもった生徒の育成 <ビジョン> 生徒を伸ばし、寄り添い支援する教職員 地域や家庭に信頼される学校 |
|----------|--|----------------------|--|

| | |
|------------------------------|--|
| c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点 | 小中が連携し、個に応じた指導を進めているが、「学びを支える言葉の力」に課題がある。 「個別最適な学びと協働的な学びの充実」「地域の構成員の一人としての参画意識及び自己有用感の育成」 「安心・安全で信頼される学校づくり」を重点として取組を進める。 |
|------------------------------|--|

| | | | |
|-------------|---------|---------------|-----------------|
| 育成を目指す資質・能力 | ① 知識・技能 | ② 思考力・判断力・表現力 | ③ 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------|---------|---------------|-----------------|

| 評価計画(中期経営目標を設定してから 1・②・3 年目) | | | | | 自己評価 | | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|--|---|---|---|-------|-------|------|-------|-------|------|
| 重点 | d 中期(3年間)経営目標 | e 短期(今年度)経営目標 | f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します) | g 指標(効果を見とる目安) | h 目標値 | 上半期 | | | 下半期 | | |
| | | | | | | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 | i 達成値 | j 達成度 | k 評価 |
| *** | 個別最適な学びと協働的な学びの充実 | ① 教科等の本質に迫る「個別最適な学び」の充実。 | ○「個別最適な学び(指導の個別化と学習の個性化)」と「協働的な学び」の往還による充実 ○学びを支える言葉の力の育成(自分の考えを整理し、根拠をあげ、わかりやすく友だちに伝える活動の推進) ○特別支援や生徒理解の視点を取り入れた一人一人に寄り添う教育活動の推進 ○知識及び技能を実生活の場面で活用する力の育成 ○ICTの効果的な活用 ○生徒の学習課題に応じた「学習フリータイム」の充実 ○「情報センター」と「心の居場所」の役割を持たせた学校図書館の整備・利活用 | ①授業は、自分に合った考え方や教材、学習時間などになっていると考える生徒の割合 ②自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができると考える生徒の割合 | ① 95% R4 92.3% ② 280% R4 61.6% | | | | | | |
| ** | 地域の構成員の一人としての参画意識及び自己有用感の育成 | ① 地域の構成員の一人としての参画意識の育成 ② “つながり”を通じた自己有用感の育成 | ○児童生徒が主体となり、企画・運営する行事等、異年齢の子どもや地域社会など、世代を越えた交流を通じた他者とかかわり合う場の設定 ○職員や生徒相互が肯定的評価(褒める、感謝する)する取組の継続 ○SEL(Social and Emotional Learning)の活用 ○生活リズムカードの活用 ○メディアを適切に利用できる力(メディアコントロール力)の育成 ○M.S.R(明德サポートルーム)の整備、充実 | 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることができる生徒の割合 自分にはよいところがあると思っている生徒の割合 | ① 57% R4 23.1% ② 85% R4 69.3% | | | | | | |
| * | 安心・安全な教育環境の整備と防災教育の深化 | ① 自分の命は自分で守る力の育成 ② 働き方改革の推進 | ○「呉市学校防災週間」における取組の充実 ○「呉市防災教育のための手引き」「土砂災害対応携帯マニュアル」の活用、家庭・地域を巻き込んだ実践 ○外部人材の活用 ○教職員による不祥事の根絶 ○成長を促す指導等の「積極的な生徒指導」の充実 ○業務の精査と意識改革 ○共有資料の蓄積 ○ICTの活用 ○ペーパーレス化の推進 | 災害時に避難する場所や避難の仕方について理解していると考えられる生徒の割合 時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の数(3ヶ月平均) 日々の業務の中で充実感を得られていると感じる教職員の割合 | ① 100% R4 95% ② 0人 R4 2人 ③ 100% R4 85.7% | | | | | | |

【k: 評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60